

2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学科 2年（留学年次） 2年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 Victoria University of Wellington/Faculty of Humanities and Social Sciences
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 3月 6日 ～ 2017年 10月 20日 出国日 2017年 2月 19日 最終帰国日 2017年 11月 18日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

一年間を通して海外に1人で住むということは新しい経験であったためどうしても気持ちが浮ついてしまうことがありました。特に、二学期になって生活にも慣れ、友達もたくさんできると予定も増えて忙しくなってしまう、授業の復習がおろそかになってしまうことが時々ありました。

また、1人暮らしを行なったことにより、留学前と比べると自立心を養うことができたと思います。帰国後に留学前の生活に戻った際に、自分から動くことができる人間になっていることに気づきました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

特になし

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

学習院大学と同じような大講義が多いような印象を受けました。授業や教授によって授業の進め方は違いました。一つの授業でも範囲ごとに教授が代わり、授業やパワーポイントの印象も変わったので、期末試験の勉強は少しやりにくいような感じがしました。レクチャー

は日本の大学と基本的にはあまり変わらないと思います。

日本の大学と異なる点は、生徒の授業態度です。授業中に雑談をする生徒は全くと言っていいほどいませんでした。たまに話している生徒が数人いると、他の生徒が迷惑そうに見たり、生徒同士で注意していました。ノートの取り方は人それぞれですが、ノートパソコンを使っている生徒の方が多い印象を受けました。(私は紙のノートで取っていました。)

授業ごとに Facebook のグループがあり、教授やチューターに質問するほどではない小さな問題が何かある場合にそこに投稿している人が多かったです。特に課題の提出前やテスト前などはその Facebook グループに入っていると情報が早く入って来て便利でした。

教授とチューターの他に Class rep という役割の生徒が授業ごとに 1 人か 2 人いて、その生徒が教授と生徒間の連絡係りのような役割でした。

教授(Lecturer)は大教室での授業を行うため、自分から話しかけたり質問をしに行ったりしない限り、関わりは少ない印象です。対してチューターは、少人数のチュートリアルを受け持っているため、教授と比べると個人的な関わり合いが多いです。チューターは場合によって学生のこともあるので比較的接触しやすいです。課題の添削などはチューターが行う場合が多いので、何か問題があった場合はチューターに聞くのが一番早く解決できると思います。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

校舎は新しく、とても綺麗です。学内にカフェなどがいくつかあるためとても生活しやすいと思います。平日の図書館の開館時間は夜の 12:00 までなので、集中して勉強したいときは図書館に行けば時間をあまり気にしなくても良いです。

大学内にマオリの Marae(教会のようなもの)や、ニュージーランドにしか生息しない虫トカゲなどもいて、とても面白いです。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

WRIT105 という授業(第一学期に履修済み)は、留学生対象のアカデミックライティングの授業です。週に約三時間の授業で、エッセイやレポートの書き方、レファレンスの仕方を学びます。他の専門科目などの課題のエッセイなどの基本的なフォーマットを学ぶので、わからない人にとってはとても良い授業だと思います。

また、Student Learning Support というものが授業外のサービスとしてあり、一週間前などに予約すれば無料で受けることができます。これは全学生対象ですが、留学生ということをお伝え、エッセイの文法やフォーマットを直して欲しいということをお伝えれば直してくれます。またエッセイの課題以外にも、専門的なことではなく何かわからないことがあれば見てくれます。一回につき一時間までなので、時間がかかりそうな場合は何回かに分けて予約することが必要です。また、図書館の前では一回 15 分までのエッセイ添削のサポートが平日にやっています。これは当日予約制です。

ビクトリア大学にはEPP(English Proficiency Programme)という授業履修がまだ難しい留学生用にフルタイムで英語の授業を行うプログラムがありますが、交換留学生には関係ないと思います。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

国際交流センターのような機関である Victoria International が年に何回かイベントを開いてくれます。また、buddy programme などのマッチングもしてくれます。しかし連絡が遅いのでメールをしても返信がこない場合などもあります。私の場合は一学期の international buddy があまり会ってくれなかったので二学期にバディーの変更をしようと思い、申し込み直しましたが、確認メールが来た後何も連絡が来ず、私も待つだけで問い合わせをし直さなかったため、結局新しい buddy を探してくれませんでした。

Vic International とは別に Language Learning Centre という別の機関があり、そこでは Language buddy を探してくれます。センター内にはいくつか小さな教室があり、予約すれば無料で使えるので、便利です。

また、部活では V-ISA というクラブがあり、国際学生が活動しているようでした。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

自分は利用しなかったためわかりません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学は丘の上にあるので登校は大変です。街の方からの登校の道で何年か前に事件があったらしいですが、今はその付近の木々は伐採され、監視カメラも設置されているので比較的安心だと思います。

学校は誰でも入れるようになっていますが、外部からの不審者は見たことはありません。ウェリントンの街は比較的安全です。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Japanese society and culture	
Writing in English as a second language	

Introduction to Asian Studies	
Principles of marketing	
Statistics for Business	
Mathematics for Economics and Finance	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 16000NZD、(日本円) 約 130 万円

(3) 食事

食事付き (㊸・㊹・㊺) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 15 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

222 Willis Accomodation という寮で、Victoria の寮である Willis St Halls のうちの一つです。寮のご飯は、Cumberland House という道路を渡ったすぐそばにあるメインの建物で食べました。イベントなどもたくさんあります。一年生が多い寮だったのでワイワイしていて楽しかったです。高かったですが、他の大学の学生もいる寮で、楽しかったです

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 19 万 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 、(日本円) 約 250 万 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

教科書、ノート代 約 6 万

生活用品(布団や枕、ドライヤーなど) 約 3 万

交通費 ・ 食費

5. 保険について

(1) 保険会社名

Victoria 大学の保険、損保ジャパン日本興亜

(2) 保険料

5万円、2万円

(3) 加入した保険の種類、内容

健康、傷害死亡、手荷物遅延、飛行機遅延、物損保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

筆記用具、化粧品、電子辞書、物干しハンガー、パソコン、日本食、

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

大きなバスタオル

(4) 持って行けば良かったと思う物

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業、課題、復習、予習、ボランティア活動、語学交換イベント参加、友人と夕食を食べたり、映画を見たり、散歩、寮のイベントに参加する

(2) 週末

課題、復習、予習、友人と出かける、映画を見る、洗濯、掃除、友達の部屋に遊びに行く、寮のイベントに参加する

8. 後輩へのアドバイス等

ウェリントン治安も良く、住んでいる人も良い人ばかりなのでオススメです

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。